

ヒヤリ・ハット報告

平成31年4月1日～令和3年3月31日

種類	件数	%
自傷	1	6.3%
他害	0	0.0%
転倒	2	12.5%
誤飲	5	31.3%
その他	8	50.0%
	16	100.0%

日中一時支援

ヒヤリ・ハット報告詳細

日にち	種類	内容	対策
H31年4月			
4月2日	その他	送迎車両から降車後、そのまま本人が走って自動ドアまで来る。3分の1ドアが閉まりかかった状態の所に走って入ってきた為、左肩をぶつける	<ul style="list-style-type: none"> ・ドアをしっかり開けておく ・走らないよう声かけをする。
4月4日	誤飲	ソファに支援員、本人、他児が3人で腰掛けていた。他支援員からの指摘で本人の方を見ると星型の紙を食べていた	<ul style="list-style-type: none"> ・異食行為のある利用者で、何でも口にいらしてしまうことを再度把握し、指導。 ・工作を行う利用者にした物は本人のロッカーに片付けるようお願いし、個々の専用BOXを作る。
R元年5月			
5月3日	その他	課題の支度をしようとして、机を自ら出そうとした際に、机の脚に左足の甲をぶつける。	<ul style="list-style-type: none"> ・机の出し入れは職員が行う ・利用者に手伝ってもらう際は、声かけ、机の持つ位置に配慮する。
5月12日	その他	多目的室で他利用者とDVDを見ていた時に最初は離れていたが、急に前に来てテレビの下に黒いコードが3cmくらい出ているのを引っ張る。	<ul style="list-style-type: none"> ・テレビとDVDデッキの線は常に綺麗にまとめておき、利用者が触っても物が落下しないように配慮する。 ①線を結束バンドでまとめる ②線は壁に這わせて、ガムテープで固定する
5月26日	その他	他児のクールダウンの為、外に出る。玄関の施錠と扉を閉め忘れた為戻ると、本児が扉の外まで出る。そこで支援員がルームに引き戻す。	<ul style="list-style-type: none"> ・施錠管理の徹底 ・静養室にも鍵をかける

R元年6月			
6月12日	その他	本人がDVDプレイヤーのコンセントを付けようとした際に、テレビカバー（塩ビ板）の淵で右手薬指の第二関節下を擦り、皮が剥ける。	塩ビ版のカバーに保護テープと緩衝材を付ける。
R元年7月			
7月31日	転倒	車に乗車する際に、支援員が本人の腕を掴みながら一緒に歩いていた。その際に、地面の消雪パイプに引っかかり転倒してしまった。	<ul style="list-style-type: none"> ・慣れずに集中して支援する。 ・車の停車位置を消雪パイプよりも前にする。
R元年9月			
9月3日	その他	他児が使用する車用座布団を送迎車にセッティングするため玄関から出る。セッティングが終わり戻ろうとすると本児が同玄関より飛び出していた。	<ul style="list-style-type: none"> ・支援員がルームに1人しかいない時は玄関一静養室間の施錠をする。 ・本児のテンションが高く動き回ることが多い時は常にルームに2人以上職員がいるようにする。
9月22日	誤飲	支援員が利用者に誘導され簡易ベッドの上でダンス中の利用者を見守りしていた。その間本児は1人でソファに座っていた。その時ズボンの中に手を入れ、その手を口元に運ぶ姿を見た為駆け寄り口腔内を確認すると、パットの切れ端のような物が口内に入っていた。	<ul style="list-style-type: none"> ・本児を1人にしない ・自分が本児につけない時は他支援員に声をかけ、見守りを願う。
9月23日	その他	帰りの会后、本児の左腕に引っかき傷を発見する。ルームではDVD鑑賞をして過ごしていた為、どこで出来た傷か不明。	<ul style="list-style-type: none"> ・傷の写真を撮る ・ピンポンとの連携をとり、後日本児の行動記録をとる
R元年12月			
12月23日	誤飲	ルーム内にて本児がパート支援員の携帯電話を口に咥えているのを発見する。	<ul style="list-style-type: none"> ・支援に関係のないものを持ち込まない ・やむを得ず持ち込む時は利用者の手の届かない所にしまう
R2年1月			
1月26日	誤飲	落ちていたお菓子をかけらを食べる	<ul style="list-style-type: none"> ・昼食及びおやつ提供後の掃除機をしっかりとかける。かけた後の確認も行う ・利用者から目を離さない
R2年2月			
2月6日	その他	送迎車へ乗車させる際に、支援員が本児のリュックを下ろすと、雪めがけて走り出してしまう。また、雪を食べようとするが、支援員の制止で異食は防いだ。	<ul style="list-style-type: none"> ・荷物係を配置している為、トランク付近でリュックを預かるのではなく、玄関のところでリュックは預かり、乗車誘導を行う

R2年3月			
3月1日	誤飲	本児が机上にあった消毒スプレーに口をつける	利用者の手の届かない所に保管することを徹底する
R2年5月			
5月19日	転倒	床に座り、伊座利後、フラッと後方に倒れることがある	<ul style="list-style-type: none"> ・突然後方に倒れることもある。ということを周知 ・支援員は突然倒れても対応できる範囲で支援に入る
R2年9月			
9月18日	自傷	車内で右二の腕に出来ていたカサブタを掻いてしまい、出血する	車内にも救急セットを置く